

平成24年度 事業報告

公益財団法人 佐倉国際交流基金

平成24年度 事業報告書

公益財団法人 佐倉国際交流基金

I. 事業の実施状況

1. 国際相互理解推進事業〔公益目的事業 1〕

1) 公開講演会（佐倉市と共催）

- ・テーマ：「世界経済の行方」

講師：水野 和夫 氏（内閣府内閣官房審議官）

場所：志津コミュニティセンター

開催日：平成24年5月12日（土）

来場者：300名

- ・テーマ：「日本の福祉の発展と生き方の変容」

講師：堀田 力氏（さわやか福祉財団理事長）

場所：志津コミュニティセンター

開催日：平成24年12月1日（土）

来場者：300名

2) 佐倉市国際文化大学

国際政治・経済・文化等をテーマに年間20回に亘る通常講座と2回の公開講座(上記を参照)を開催した。

講師：大学教授等専門領域の有識者

場所：佐倉市中央公民館・志津コミュニティセンター等

開催日：5月～12月の土曜日

受講生：106名 修了者 95名、皆勤者 14名

延べ受講者数：2,034名(出席率 83.4%)（平成23年度 2,062名）

3) 佐倉国際スピーチコンテスト（佐倉市と共催・佐倉市教育委員会後援）

国際交流意識の啓発を目的に小、中学生の英語スピーチコンテスト並びに外国人の日本語スピーチを実施した。

テーマ：自由

審査委員：ネイティブの大学英語講師・A.L.T・高校英語教師による
（審査結果公表）外国人の日本語スピーチは審査せず。

場所：ミレニアムセンター佐倉

開催日：平成24年9月30日（日）

出場者：小学生 45名（49名）

外国人 5名（3名）

中学生 レシテーション 22名 (20組) (20名)

中学生 スピーチ 9名 (10名)

* () 内は、平成23年度の実績

来賓 3名、審査員3名

スタッフ 運営委員 4名、当日ボランティア 2名、
佐倉市役所 2名、事務局 3名

4) イングリッシュ・サロン (佐倉市後援)

平成22年度までの「みんなの楽しい英語」の趣旨に沿った事業で、ネイティブの外国人と英語によるコミュニケーションを体験することにより、英語力向上のきっかけを得るとともに、体験活動を通じて、多文化共生と国際交流感覚を醸成することを目的として開催した。

開催日は、7月4日、9月5日、10月3日、11月7日の4日間で、回が進むにつれ、徐々に雰囲気も打ち解け、英語でのコミュニケーションを楽しめたと好評であった。

参加者は、7/4(16名)、9/5(13名)、10/3(20名)、11/7(15名)

ファシリテーター 2名

運営委員 6名

5) 佐倉異文化交流の集い (佐倉市と共催)

このイベントは、佐倉市民と市内近郊在住の外国人が、それぞれの文化を楽しみながら体験し、外国人と日本人が自由にコミュニケーションすることによって、同じ地域の仲間として共に生活していくために必要な相互理解のきっかけになることを目指した国際親善交流イベントである。

場 所：志津コミュニティセンター

開催日：平成24年10月20日 (土)

開催イベント

アンデス舞踊、ハロウィーン・タイム、太極拳、福引、フェア・トレード紹介、フリー・マーケット、コーヒー、カレーパン、抹茶、書道、折り紙、紙飛行機、けんだま、イギリスのケーキ作り教室、国際コミュニケーション・コーナー

参加者：約220名 (うち外国人参加者：約25名)

ハロウィーン参加の子供の数：34名

スタッフ：運営委員 5名、ボランティア 15名、佐倉市 2名

うち外国人ボランティア：3名 ほか、外国人出演者：6名

2. 国際交流活動支援事業[応募申請型]〔公益目的事業 2〕

国際交流親善・多文化共生の啓発に寄与すると判断される団体・グループ等の活動支援[当基金の助成金交付内規による助成金支援]である。平成24年度に助成金を交付した団体と事業は下記のとおりである。

事業名	団体名	助成金
佐倉ポルトガル語同好会	佐倉ポルトガル語同好会	¥20,000
中国語中級会話学習	中国語中級会話同好会	¥16,000
垣見一雅さん帰国講演会	OK さくら	¥20,000
子どもがつくるまちミニさくら 2013	任意団体 NPO 子どものまち	¥20,000
オランダ語の学習を通じ日蘭交流	佐倉オランダ語同好会	¥20,000
中国語の学習及び中国との交流活動	佐倉中文会	¥20,000
アン・グローバーの語りを楽しむ交流会	佐倉かたりべの会	¥15,000
日蘭児童交流	佐倉日蘭協会	¥200,000
石家荘、太原親善訪問	佐倉市日中友好協会	¥80,000
日蘭交流	千葉県立佐倉高校	¥53,215

(助成金合計 464, 215 円)

3. 外国人支援事業（佐倉市国際化推進事業受託）〔公益目的事業 3〕

1) 外国人のための日本語講座

市内在住の外国人を対象に日本語で意思疎通が可能となるよう日常会話を中心とした講座を開催した。

(1) 開講クラス

・毎週木曜日（午前・午後 合計3クラス）

* 午後はベビーシッター制度あり

会場：志津コミュニティセンター

・毎週金曜日（夜間 1クラス）

会場：ミレニアムセンター佐倉

・毎週日曜日(午前 合計4クラス)

会場：中央公民館、レインボープラザ佐倉

(2) 事業状況（* は、平成23年度実績）

受講者 年間合計 1,970名（平均49名が受講）(*1,316名)

年間クラス 年間合計 280クラス

講師 年間合計 517名(*363名)

(講師数 平均18名、コーディネーター 5名)

ベビーシッター 年間合計 160名(平均5名)

2) 外国人のための生活相談

佐倉国際交流基金の事務局内に、外国人を対象とした生活全般に係る相談窓口を置き、相談員3名を配置し、電話及び面接による相談を実施した。また、相談員が不在の場合、必要に応じて交流基金事務局長、あるいは事務局員が生活相談を実施した。

1. 英語による相談受付	毎週木曜日	44回
2. 中国語による相談受付	毎週金曜日	44回
3. スペイン語による相談受付	毎週火曜日	49回
○相談件数	79件	137回
○運営会議	3回	(事務局と担当者<個別>)

4. その他 附帯事業

1) 佐倉・国際交流ボランティア活動

・ 国際理解事業

① 臼井公民館主催 家庭教育講座「本場ドイツのクリスマスと日常生活」(地域の母親対象にドイツ人の方が講演)ドイツ人講師の語るドイツ語を日本語に通訳

② 世界旅行ツーリズム協議会(東京他会議場)開催にあたり、成田空港にて、出迎え(通訳)ボランティアの派遣(2日間・6名)

・ 日本語適応指導(佐倉東中学校)

ペルーの中1の男子生徒に、国語力をつけるため週1回、学校内で、日本語指導(日常会話はできる)

・ 児童学習支援

佐倉市主催「夏休み楽しい日本語教室」佐倉市在住の外国人児童たち(小学生)に勉強指導。夏休みの5日間12名のボランティアの方に依頼

・ 日本語指導

中国の12歳男児。夏休み期間、日本在住の母親の元に来ている間、日本語の勉強をしたい。週1~2回、1か月間依頼

・ 日本語指導

トルコエアラインの客室乗務員。月2回、日本に仕事で来る際に、接客用の日本語を勉強したい。ボランティアの自宅で指導。

・ 日本語指導

台湾から1か月間観光に来ている2名の女性に、日本語を教えよう。(1日で終了)

・ 日本語指導

日本語講座の夏休み期間に、複数の外国人に複数のボランティアで日本語を教える。

・ 日本語指導

来日まもないアフガニスタン女性に、日本語を指導。依頼者の自宅にて。(基金の日本語講座に通えない。)

・日本語指導

アフガニスタン男性の自宅にて、日本語を指導。(仕事の関係で、基金の日本語講座に通えない。)

・福祉関係の通訳

① 障害のあるペルーのご夫婦と医療機関との間の通訳をボランティアにお願いした。

② ブラジルの男性と医療機関との間の通訳を、ブラジル出身のボランティアの方をお願いした。

2) 後援事業

・房総日本語ボランティアネットワークの実施する「日本語を母語としない親と子どものための進路ガイダンス」事業の後援をした。

※高校と中学の先生による千葉県の高校進学に関する説明と解説・個別相談
延べ参加人数 468名 (平成24年9月23日・30日・10月7日・14日於四会場)

・言語交流研究所「ヒップファミリークラブ」主催の「七ヶ国語で話そう」教育講演会事業の後援をした。

※平成24年6月10日(日) 志津コミュニティセンター於
平成24年6月14日(木) 佐倉コミュニティセンター於

・任意団体 NPO 子どものまち主催「子どもつくるまちミニさくら2013」(当基金の助成金事業)の後援をした。

※平成25年3月28日(木)31日(日) 中志津中央商店街他
子ども参加人数のべ1,271人 大人サポーター人数のべ192人

3) 国際交流活動等情報提供

基金 LETTERS を発行(7月・11月)し事業の実施状況やボランティアの活動などについて情報を提供した。

4) 分かりやすく覚えやすいURLを取得し、基金ホームページを使って当基金の事業概要・行事・その他財務状況などを掲載し公告の一助とした。

平成25年1月にホームページを全面的に見直し、より使いやすい、見やすいホームページにリニューアルした。

ホームページアドレス：<http://www.sief.jp>

5) 賛助会員の新規募集のため、あらゆる機会に P.R チラシを配布、協力者づくりに努力したが、賛助会員数は微減という状況であった。

平成 25 年度から個人会員の会費が一口 2000 円に値下げされることと、平成 24 年 3 月 1 日付で入場料の割引が国立歴史民俗博物館から認可され、会員特典も増えたことを強調して、プロモーション活動を強化していく予定である。

以 上

<参考資料>

1. 賛助会員数 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

個人会員 174 人 (183 人)

内、市外の会員 12 人

団体会員 9 団体 (10 団体)

法人会員 13 法人 (15 法人)

() は昨年度の実績

2. ボランティアバンク登録者数

2013 年 (平成 25 年) 3 月 31 日現在

279 (315) 名 (重複登録有り)

日本語講師		101 (97)
通訳・翻訳		240 (209)
内 訳	英 語	123 (110)
	スペイン語	25 (23)
	ポルトガル語	10 (11)
	中国語	35 (2)
	フランス語	12 (8)
	インドネシア語	3 (3)
	ロシア語	4 (2)
	タイ語	5 (6)
	スウェーデン語	1 (1)
	ドイツ語	5 (4)
	韓国語	12 (9)
	タガログ語 (リサヤ語)	2 (4)
	イタリア語	1 (1)
	スリランカ語	2 (1)
ホームステイ・ビジット		44 (44)
イベント手伝い		163 (207)
ベビーシッター		30 (26)
車の運転		26 (27)
その他		83 (93)

() は昨年度数

3. 役員、評議員に関する事項

(1) 役員・評議員名簿

役員（理事・監事）

役員名	氏名	備考
理事長	宍倉 昌男	元県印旛支庁長
副理事長	熊谷 隆夫	元佐倉市助役
常務理事	石塚 孝男	元特定郵便局長
理事	伊藤 三郎	元第一勧業銀行
理事	鈴木 博	佐倉商工会議所会頭
理事	住田 和海	元川村記念美術館館長
理事	平川 南	国立歴史民俗博物館館長
理事	堀川 義勝	元三菱電機株式会社
理事	三宅 捷彦	元日本ビクター株式会社
理事	山田 滋	元三和機材株式会社
監事	石渡 孝	元佐倉市会計管理者
監事	熊崎 久雄	企業会計経験者

任期 平成 23 年 4 月 1 日から 2 年間（平成 25 年評議員会まで）

評議員

	氏名	備考
評議員	安達 文夫	国立歴史民俗博物館
評議員	岩崎 肇	佐倉中央ロータリークラブ
評議員	大川 靖男	佐倉市観光協会
評議員	岡村 美智子	佐倉ロータリークラブ
評議員	小柳 啓一	元佐倉市企画政策部長
評議員	佐久間 文麗	学識経験者(中国語講師)
評議員	高野 尚武	佐倉市日中友好協会
評議員	角田 和弘	佐倉商工会議所
評議員	山倉 洋和	NPO理事長
評議員	山田 朝子	日本語講座コーディネーター

任期 平成 23 年 4 月 1 日から 4 年間

(2) 役員会等

☆定例理事会（役員会） 平成 24 年 5 月 18 日（金）

議 題

- ・第 1 号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 平成 23 年度事業実績報告について

- ・第2号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 監事より監査結果の報告 平成23年度決算報告について
 - ・第3号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 平成24年度助成金交付について
 - ・第4号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 定款の変更について
 - ・第5号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 賛助会費規程について
 - ・第6号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 情報公開規則の変更について
 - ・第7号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 平成24年度評議員会開催について
- 理事数 10人
 役員数 12人（理事10人 監事2人）
 理事出席数 8人 監事出席数 2人
 議決結果 原案どおり可決

報告事項

- (1) 資産運用について
- (2) 平成24年度 事業実施状況

☆臨時理事会（役員会） 平成24年12月6日（木）

議 題

- ・第1号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 債券運用基準について
 - ・第2号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 資産運用について
- 理事数 10人
 役員数 12人（理事10人 監事2人）
 理事出席数 8人 監事出席数 1人
 議決結果 原案どおり可決

報告事項

- (1) 平成24年度 事業実施状況・予算執行状況
- (2) 平成25年度 事業方針・予算方針

☆定例理事会（役員会） 平成25年3月12日（火）

議 題

- ・第1号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 平成25年度事業計画（案）について
 - ・第2号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 平成25年度事業予算（案）について
 - ・第3号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 定款改訂（案）について
- 理事数 10人
 役員数 12人（理事10人 監事2人）
 理事出席数 6人 監事出席数 2人
 議決結果 原案どおり可決

報告事項

- (1) 平成24年度 財政調整積立金について
- (2) 20年国債購入処理について
- (3) 会計報告書式について

(4) 佐倉市国際文化大学 平成25年度カリキュラムについて

★評議員会 平成24年6月14日(木)

議 題

- ・第1号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 平成23年度事業実績報告について
 - ・第2号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 平成23年度決算報告について
監事より監査結果の報告
 - ・第3号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 定款の変更について
- 評議員数 10人
評議員出席数 6人
議決結果 原案どおり承認

報告事項

- (1) 平成24年度 事業計画・予算書
- (2) 賛助会費規程について
- (3) 平成24年度助成金交付について
- (4) 情報公開規則の変更について
- (5) 資産運用について
- (6) 平成24年度 事業実施状況

◇三役会

平成24年4月20日(金)

平成23年度事業報告・決算案の検討、第1回定例理事会・評議員会の議案検討、第1回助成金審査など

平成24年7月30日(月)

事業執行状況・予算執行状況の確認、佐倉市監査結果の確認、懸案事項(助成金追加申請の審査、日本語講座運営改善、賛助会員・ボランティア活性化など)の検討など

平成24年9月26日(水)

事業執行状況・予算執行状況の確認、懸案事項(日本語講座運営改善、助成金制度、賛助会員新制度、資産運用、交流基金25周年行事など)の検討など

平成24年11月26日(水)

事業執行状況・予算執行状況の確認、資産運用方針原案の決定、平成25年度事業方針・予算方針の検討、臨時理事会議題の検討、情報公開の検討など

平成25年2月15日(金)

事業執行状況・予算執行状況の確認、懸案事項の検討、平成25年度事業計画・予算案の決定、理事会日程・議題の検討など

4. 平成24年12月の国債買い替え時の会計処理について

平成24年12月6日の臨時理事会の決議にもとづいて、12月21日付で、20年国債1億4千万円を購入した。国債購入の際の資金の流れは、下記のとおりである。

12月20日 244回利付国庫債券(10年)満期償還

受取金額 ¥140,000,000 ①

内訳 買付価格 ¥139,356,000 財産目録上の金額 (単価 99.54)

アンダーパー分 ¥644,000 指定正味財産の収入

12月21日 139回利付国庫債券(20年)購入

買付価格 ¥99,925,000 (S M B C 日興証券) (単価 99.925)

買付価格 ¥39,970,000 (みずほ証券) (単価 99.925)

合計 ¥139,895,000 ②

*①と②の差額¥105,000は、財政調整積立金として積み立てた。

また、139回利付国庫債券(20年)購入の際に、買付2本で合計¥6,136の経過利息を支払ったが、これは、平成25年6月20日の支払い利子の減額分であるので、平成24年度の基本財産運用益のマイナス分として処理した。

5. 契約に関する事項

契約締結年月日	相手方	締結の内容	契約金額
平成23年4月1日	佐倉市	佐倉市国際化推進事業	1,368,000円

6. 寄附金、協賛金等

(1) 寄附金ご協力者 (敬称略)

氏名	寄附金額	受取日
岡部 グニラ	10,000円	平成24年9月30日
岡村 美智子	10,000円	平成24年10月4日

寄附金は、指定正味財産として定期預金に預入

(2) 協賛金ご協力者 (敬称略)

氏名	金額	協賛いただいた事業
佐倉ロータリークラブ	10,000円	佐倉国際スピーチコンテスト
佐倉ライオンズクラブ	20,000円	佐倉国際スピーチコンテスト

協賛金は「佐倉国際スピーチコンテスト」の事業費に全額支出

(3) その他協賛としてのご協力者 (敬称略)

氏 名	内 容	協賛いただいた事業
酒処・お好み焼き 醇	食事券の提供 (福引景品) 10,000 円	佐倉異文化交流の集い
横浜らーめん佐倉家	食事券の提供 (福引景品) 8,000 円	佐倉異文化交流の集い